

経営発達支援計画

2021年度評価会議結果について

1. 日 時：2021年6月24日（木）9：00～11：00
2. 場 所：浜松商工会議所 4階特別会議室
3. 出席者：委員長 鈴木宣二（静岡県中小企業診断士協会長）
 委 員 中出泰夫（静岡県信用保証協会常務理事）
 秋田 聡（東海税理士会浜松西支部長）
 伊藤 忠（東海税理士会浜松東支部長）
4. 評価の目的：2020年度に実施した経営発達支援計画の事業実施・成果について評価を行い、見直し案等の提示を行なうことで支援計画の改善につなげる。
5. 評価の手法：各評価事項における定量及び定性的観点から4段階で評価する。
6. 評価の反映：委員からの提言をもとに改善案を検討し、2021年度の事業実施計画等に反映させる。
7. 主な指標（2020年度実施結果）

大項目	実施内容	目標	実績
1. 地域の経済動向調査に関すること	中小企業景気動向調査（天気図版）	年4回	年4回
	浜松地域の経済動向	月1回	月1回
	「商工振興委員」による情報収集	月1回	月1回
	「ブロック巡回」による情報収集	月1回	月1回
2. 経営状況の分析に関すること	セミナー開催	5回	12回
	経営分析実施件数	285件	927件
	経営指導員等一人当たり実施件数 ※15名で算出	19件	62件
3. 事業計画策定支援に関すること	事業計画策定事業者数	195件	838件
	経営指導員等一人あたり件数 ※15名で算出	13件	56件
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象事業者数	195件	1,256件
	頻度（延べ回数）	780件	2,168件
	売上増加事業者数	70社	44社
	営業利益額増加事業者数	60社	46社
5. 需要動向調査に関すること	農業現場における需要動向調査	5社	11社
	商談会等の企画を通じた需要調査	6社	44社
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	新技術・新工法展示商談会の開催 [技術マッチング]	3社 成約1件	延期
	浜松版「ものづくりパートナー紹介サービス」の実施	5社 成約1件	14社 成約1件
	商談会参加事業（BtoB）	6社 成約1件	5社 成約5件
	催事出店事業（BtoB）	7社 成約1件	31社 成約4件
	アライアンスパートナー発掘市（BtoB）	17社 成約1件	延期
	販売促進に繋げるIT活用支援	12名	34名

2020年度 浜松商工会議所経営発達支援計画評価結果

分類	項目	総合評価	委員コメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画通りに実行されており、実績が出ている（鈴木委員長） 地域の情報を良くまとめている（伊藤委員） 地域の他、シンクタンク等の意見も取り入れて、現況を様々な切り口で確認していると考え（秋田委員）
	2.経営状況の分析に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> オリジナル経営分析ツール（SWOT分析）を使って小規模事業者分析や各種補助金の申請に役立っている（鈴木委員長）。 オンラインによる経営相談の仕組みの構築はコロナ禍に時宜を得た対応である（中出委員） 専門家に繋げる活動は情報に疎い小規模事業者にとっては大切だと考えるので更に推進して欲しい（秋田委員）
	3.事業計画策定支援に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画や各補助金の採択率が目標を上回っている（鈴木委員長） コロナの影響に対して支援できている（伊藤委員）
	4.事業計画策定後の実施支援に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> 計画が順調でない事業者や補助金申請等不採択の事業者に対するフォローもしている（鈴木委員長） 地域の事業者に対して、こまめにフォローができている（秋田委員） フォローを十分に行い、必要に応じた対応ができている（伊藤委員）
	5.需要動向調査に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動が二極化していると言われていいる中、落ち込んでいる業種の需要回復がカギとなってくる。難しい調査と思うが引き続き実施して欲しい（中出委員） 事業者にとって需要動向調査は最大の関心事であり、販路開拓に寄与している（中出委員）
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	B	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においてもできる範囲で実施できている（秋田委員） オンライン中心で十分な効果が得られなかった点がある（伊藤委員） ITを活用した販路開拓は売上向上策としてニーズがあるテーマである。ホームページの運営に役立つ知識や先進事例、情報共有などの支援は、課題解決に直結する取組みであり、引き続き指導・啓蒙を進めて欲しい（中出委員）
地域活性	7.地域経済の活性化に資する取組	B	<ul style="list-style-type: none"> 長い目で教育が実を結ぶよう期待する（伊藤委員） アフターコロナを見据え、活性化事業は積極的に推進して欲しい（秋田委員） コロナ禍で開催できない事業が多いが、次のステップを考えて欲しい（例. オンラインによる商品PR）（鈴木委員長）
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	B	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県よろず支援拠点との連携では、多くの事業者の相談に対応することができたことなど、厳しい状況下でできることは取組むことができた（中出委員） 連携先が多くあるが充分に対応できている（伊藤委員） 地域経済のハブとして、引き続き会議所の存在や活躍を期待する（秋田委員）
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	A	<ul style="list-style-type: none"> 金融や事業計画の動画説明、経営指導員のOJTによるスキルアップの取組みは良い（鈴木委員長） 資格取得（診断士等）を目指しており大変良い（鈴木委員長） 人材育成とノウハウの伝承が、各事業推進の肝になる。資質向上はいかなる状況でも重要な課題であるので、引き続き支援能力の向上を図って欲しい（中出委員）
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	A	<ul style="list-style-type: none"> 目標の管理をしっかりとっている（鈴木委員長） 地域の元気創造の先頭に立って努力されており、「やらまいか」の発信をぜひ継続していただきたい（中出委員）

A：目標を達成することができた（100%以上） B：目標を概ね達成することができた（80～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～70%） D：目標をほとんど達成することができなかった

（30%未満）